

氏名	森田牧子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	精神看護学、産業保健、精神科訪問看護、メンタルヘルス、自殺				
学位	博士（看護学）				
学歴	2007年日本赤十字看護大学、09年首都大学東京（東京都立大学）人間健康科学研究科博士前期課程、18年首都大学東京人間健康科学研究科博士後期課程				
経歴	2010年首都大学東京（東京都立大学）健康福祉学部助教、16年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本精神保健看護学会（査読委員）、日本在宅ケア学会、日本保健科学学会、日本保健福祉学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	精神疾患のある母親をもつ子どもたちの困難を乗り越える経験 セルフヘルプグループに集う子どもたちの語りから	共著	あり		日本精神保健看護学会誌 33(1) 138-146	伊賀 聡子, 横山 恵子, 森田 牧子	2024.6
2	若年性認知症家族介護者の秘匿感情：秘匿から開示への過程における経験	共著	あり	○	日本看護科学会誌 2024 年 44 巻 p. 408-418	出貝 裕子, 勝野 とわ子, 青山 美紀子, 森田 牧子, 前田 優貴乃	2024.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	若年認知症家族介護者の否定的な症状・行動からの支援内容の検討 誌 23(1) 174-174 2024年4月	共同	日本認知症ケア学会,東京		○青山 美紀子, 前田 雪乃, 出貝 裕子, 森田 牧子, 勝野 とわ子	2024.6	
2	COVID-19感染拡大下において統合失調症を有する者と同居する家族の体験 日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集 34回 165-165 2024年6月	共同	日本精神保健看護学会,千葉		○小林 亜耶, 江口 のぞみ, 秋山 美紀, 森田 牧子, 林 裕栄	2024.6	
3	「精神科看護師のperformance」の概念分析	共同	日本精神保健看護学会,千葉		○小川 千恵子, 飯岡 由紀子, 森田 牧子, 秋山 美紀	2024.6	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	精神看護の役割・機能を踏まえた精神看護学実習の多様化と地域への移行に関する研究		研究分担者		2022年度～2025年度	

2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	コロナ禍のアクションリサーチから構築する災害等緊急事態禍における看護師支援モデル	研究分担者	2023年度～2025年度
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	若年認知症家族介護者の早期健康意識に繋げる為の看護支援プログラムの構築	研究分担者	2024年度～2028年度
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	地域における精神看護学実習に向けた実習施設の受け入れ体制構築に関する研究	研究分担者	2025年度～2028年度
5	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）	経験学習を導くRPGを活用した看護職の調整力向上教育教材の開発と効果の検証	研究分担者	2025年度～2028年度

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神看護学Ⅰ	○	2	科目責任者として、精神看護学総論では健全な心の発達の過程、各発達期における課題と危機、心の健康に及ぼす諸因子について理解し、心の健康を保持・増進させるための看護について学ぶことができることを目標としている。また、看護師・患者関係のあり方、発展に向けた知識と技術を学び自分自身のメンタルヘルスについて理解が深まる工夫を行っている。講義では短い演習なども組み込んで心理テストやミニ精神療法などを行ってもらい、自分自身の心の健康をどう保つか理解を進める。リカバリーやノーマライゼーションの理念を基盤に、その人らしい人生が歩めるように支援することを考える。
2	精神看護学Ⅱ		8	精神看護の具体的な内容、技法、当事者や家族の思いについて初学者がイメージを持つことができる講義組み立てを行っている。講義担当の訪問看護では、病院で必要とされる看護と在宅で必要とされる訪問看護について、経験した事例や映像を用いて学生が精神科看護を具体的に理解できる講義を行った。また、ゲストスピーカーのAAスタッフの講義ではファシリテーターとして、質問や依存症に関する質問や補足説明を学生が理解しやすいように行った。
3	メンタルヘルス論		3	日本におけるメンタルヘルスの現状と法律の歴史、産業看護としての職務、義務等について講義を行った。
4	看護実践科学 精神看護制度論		15	精神科における制度について、自分の研究をもとに説明を行った。その後、学生の疑問等をテーマにディスカッションを行った。
5	看護実践科学 コンサルテーション論	○	15	科目責任者として、コンサルタントとコンサルティー間、相互の関わりを通じて展開するプロセスが理解できるように各コマの司会を行った。3名のCNSと教員がクライエンに関する諸課題を、“自分の仕事”の中で、主体的・効果的に解決してきたか講義を行った。対人援助の各領域において専門的職業人に必要とされる、コンサルテーションの概念と理論に関する知識を学び、仮想事例を基にした模擬コンサルテーションを通じて、体験的・実践的な学習を進めた。
6	看護基盤学 看護倫理		2	精神科看護における倫理的課題について講義を行った。精神領域外の学生が理解できるように、精神科看護の特徴、現状の課題、隔離・拘束についての根拠法律や看護師の倫理的感受性について事例による説明を行った。それらを踏まえた上で、倫理原則、倫理的概念から精神医療を考える講義を行い、その後はディスカッションで学びを深めた。

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神看護学Ⅱ	○	8	再構成ではロールプレイを用いて事例展開を行い、学生がイメージしやすいように指導を行った。ケアプランでは身体だけでなく精神も含め、かつ包括ケアも意識したプランの作成を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2024.07-2024.10	IPW実習教員担当として実習に参加した。実習の事前打ち合わせ、実習4日間のスケジュール決定、発表内容の指導まで行った。学生が連携に関して自主的に学び、チーム形成が行えた成果を報告会で開催できるように支援した。
2	精神看護学実習		2024.10-12	精神科急性期病棟における看護において、病棟実習と学内カンファレンスを担当した。精神障害者の抱える生きづらさを知り、問題解決だけでなくストレングスにも着目して患者の全体像をイメージ、理解ができるように関わった。また、記録についても問題解決思考ではなく、目標到達思考で考えて記録するように教育を行った。
3	総合実習		2024.07	アルコール依存症中間施設さいたまマックにおいて、アルコール依存症の方が退院後にどのような社会資源を用いて生活を送るのか、生きづらさとは何かを学ぶことができるようにミーティング参加を通して指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.04~2024.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2024.04~2025.03	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	2025年埼玉県立大学大学院入学試験問題の作成委嘱	2024.04~2025.3	2025年度埼玉県立大学大学院（博士前期課程）入学試験問題作成を行った	
2	埼玉県立精神医療センター看護研究指導	2024.04~2025.3	埼玉県立精神医療センターの看護研究指導を5件行った。2件は学会発表、1件は論文投稿、2件は研究計画書の作成と倫理申請まで指導を行った。	
3	東京医療保健大学大学院 千葉看護学研究科 論文審査委員	2022.1.1~2025.3.31	博士前期課程の論文の審査委員と審査結果の要旨作成を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	家族のためのリカバリートーク	埼玉県立大学オープンカレッジ	家族のためのリカバリートーク	2024.10
2	埼玉県立精神医療センターラダーⅤ看護倫理研修	埼玉県立精神医療センター	ラダーⅤ看護倫理を職場に定着させるには	2024.07
3	埼玉県看護協会「新人看護師のメンタルヘルス」	埼玉県看護協会	新人看護師のメンタルヘルス	2024.06
4	埼玉県立精神医療センター看護研究指導	埼玉県立精神医療センター	県立精神医療センター看護研究指導	2024.4-2025.3
5	令和6年度埼玉県立病院機構「新人看護師のメンタルヘルス」研修	埼玉県立病院機構	10月15日循環器・呼吸器病センター 10月16日がんセンター・精神医療センター合同 10月22日小児医療センター	2024.10.16 2024.10.16 2024.10.22
6	吉川市福祉事務所職員研修	吉川市	希死念慮を持つケースへの対応	2024.12

7	横浜市磯子区専門職向け研修	横浜市磯子福祉保健センター	自分自身に役立つセルフコンパッション	2025.02	
8	越谷市役所 地域共生部 地域包括ケア課	越谷市	越谷市65歳からの心の健康講座	2025.03	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	東京都第三者評価委員（評価者）		東京都第三者評価委員	2011～現在	
2	NPO法人アドボケイト会 副理事長		副理事長	2017～現在	
3	特定非営利活動法人さいたまマック運営委員		運営委員	2019～現在	
4	吉川市自殺対策計画推進協議会委員		委員長	2024.12.20~2026 8.31	
5	日本精神保健看護学会		編集委員、査読者担当	2024.04～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし	日本精神保健看護学会	日本精神保健看護学会第34回学術集会運営スタッフ		2024.06.01
2	該当なし	ウェルビーイング学会	第3回ウェルビーイング学会運営スタッフ		2025.03.21
5. 学内運営					
	項目		内容		期間
1	学生支援		2023年度入学生担任		2023.04.01～現在
2	学科等における委員会等		埼玉県病院機構連携会議		2022.04.01～2025 03.31
3	学科等における委員会等		看護学科親睦会		2024.04.01～2025 03.31
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名		主催		受賞年月
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名		特許番号		登録年月
1	該当なし				
8. 特記事項					
1	該当なし				